

事務事業マネジメントシート(平成28年度実績と平成29年度計画)

平成29年 8月24日更新

事務事業名	合志市地域公共交通計画実施事業				<input checked="" type="checkbox"/> マニフェスト 関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断 課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革 プラン関連
総合 計画 体系	政策	5	都市基盤の健康		所属部	政策部	課長名 大茂 竜二
	施策	25	公共交通の充実		所属課	企画課	担当者名 鶴田 裕之
	施策の柱	68	公共交通の利便性の向上		所属班	企画広報班	(内線) 1254
予算科目	会計 一般	款 2	項 1	目 11	事業連番 11465	根拠 法令	地域公共交通の活性化及び再生に関する法律、道路運送法
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 28年度で終了 <input type="checkbox"/> 28年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 21 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)	
成果優先度評価結果	②						
コスト削減優先度評価結果	④						

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	地域公共交通の活性化及び再生に関する法律に基づき策定した、合志市地域公共交通計画に定めるさまざまな実証実験を、平成21年度から平成23年度までの3カ年間に亘り国の補助(1/2)を受けて実施してきた。実証実験の結果、平成24年度から、レターバス、循環バス(2路線)、乗り合いタクシー(3路線)および予約型乗り合いタクシーを本格運行とした。平成27年度に策定した「合志市地域公共網形成計画」に基づき①コンパクトシティの実現に向けたまちづくりとの連携②地域全体を見渡した面的な公共交通ネットワークの再構築に寄与する地域公共交通網を構築する。
【業務の流れ】	コミュニティバス運行業務および総合支援委託業務の契約事務、コミュニティバスや乗り合いタクシーの再編及び利用促進策などの審議。利用促進策としてガイドマップの作成配布及び各地区への出前講座等による説明。コミュニティバス運行進行管理(事業者による実績報告や協議会への経過報告など)や実績に基づく運行委託料支払事務
【主な予算費目】	職員手当(時間外勤務)、需用費、役務費、委託料
【意見や要望】	合志市における地域公共交通ランドビジョンの必要性や、市財政状況を踏まえ、どこまで市が経費を負担して地域公共交通を維持するのか、運行に関する収支率や運賃改定について市議会や地域公共交通協議会から意見をいただいている。 ・須屋地区へのレターバス乗り入れを求める要望がある。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 28年度実績(28年度に行った主な活動) (DO)	29年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)
西合志庁舎～合志庁舎間のバス路線の検討及び実証実験に向けた検討を行った。	循環バス須屋線のルート整理及びダイヤ改定
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
→ ア コミュニティバス路線の路線数	本 コミュニティバス運行費単価増による委託料の増
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
市民	(単位) 人
	→ ア 市の人口
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
円滑に移動できる	(単位) %
	→ ア 「公共交通機関を利用している割合」(市民アンケート調査)
*③成果指標設定の理由と29年度目標値設定の根拠	
市民アンケート調査の「公共交通機関を利用している割合」	
総トータルコスト 全体計画 ～ 年度	
0	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	26年度 実績(決算)	27年度 実績(決算)	28年度 目標(当初予算)	28年度 実績(決算)	29年度 目標(当初予算)	30年度 予定	31年度 見込	32年度 見込	
① 活動指標	ア 本		9	9	9	9	9	9	9	9	
	イ										
② 対象指標	ア 人		59,067	60,008	60,100	61,022	60,900	61,500	62,000	652,500	
	イ										
③ 成果指標	ア %		65.6	65.9	69.5	65.9	70	70.5	71	71.5	
	イ										
投 入 費 量	財 源 内 訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円	3,875	4,761	3,800	5,501	3,800	3,800	3,800	
		地方債	千円								
		その他	千円	5,326	5,062	3,874	3,874	3,666	3,666	3,666	
		繰入金	千円								
	(A) 事業費計	一般財源	千円	40,942	51,939	44,578	43,371	48,002	48,002	48,002	48,002
		(A)のうち指定経費	千円	50,143	61,762	52,252	52,746	55,468	55,468	55,468	55,468
		(A)のうち時間外、特勤	千円	19	2	13	0	13	0	0	0
	人 件 費	正規職員従事人数	人	3	4	6	4	6	6	6	6
		延べ業務時間	時間	550	918	1,200	675	1,200	1,200	1,200	1,200
(B) 人件費計		千円	2,191	3,408	4,780	0	4,780	4,780	4,780	4,780	
トータルコスト(A)+(B)		千円	52,334	65,170	57,032	52,746	60,248	60,248	60,248	60,248	

事務事業名	合志市地域公共交通計画実施事業	所属部	政策部	所属課	企画課
-------	-----------------	-----	-----	-----	-----

## 2 評価の部 (CHECK)

\*原則は28年度の事後評価、ただし複数年度事業は28年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①28年度目標達成度評価	<input type="checkbox"/> 達成した <input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 平成28年度の熊本地震による影響で公共交通の利用者がへったため、目標達成にはいたらなかった。 また、西合志庁舎～合志庁舎間のバス路線の検討及び実証実験に向けた検討については作業部会や協議会で検討を行ったが、今年度は実証実験は行えなかった。
	②29年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 コミュニティバスの利用促進策の取り組みを検討・実施し、利便性を向上させることにより目標達成が見込まれる。
有効性評価	③成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 平成27年度10月の料金改定からは当面は現状の運行形態で運行するとされているものの、今後は須屋線ルート変更及増便等の利便性向上のための取り組みを行うことにより成果の向上を目指す。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 民間事業者が運行しない区域を運行しているものであり、公共交通空白地域をカバーする事業主体は、現時点では市が実施する以外ない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 広告収入の増収を図ることにより、事業費の削減は可能である。 利用促進策の効果等により利用者が増加すれば、運賃収入の増となり運行委託料が削減される。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 限られた業務時間（人件費）を有効に利用できるよう、他の事務事業の効率化を図り、公共交通の充実に直結する本事務事業に業務時間を重点的に配分している。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 全市民を対象としているため公平である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 民間バス事業者が運行しない区域において地域公共交通を維持する者は、行政以外にはいない。

## 3 評価結果の総括 (CHECK)

地域公共交通網形成計画で予定していた東西線実証実験は、実施できなかった。平成32年度までに4つの指標に基づき利用定着のため交通体系の見直し等を行い、利用促進の取り組みを行なうこととした。  
 なお、次年度は須屋線のルート見直しを行い、安定した運行ルート確保を図る。

## 4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p> <input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)  <input checked="" type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)  <input type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)         </p> <p>【有効性改善】須屋線ルート変更及び増便等利便性向上のための取り組みを行うことにより成果の向上を目指す。</p> <p>【効率性改善】広告収入の増収を図ることにより、事業費の削減は可能である。また、利用促進策の効果等により利用者が増加すれば、運賃収入の増となり運行委託料が削減される。</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p> <p>運賃収入増となった場合でも震災以降交通渋滞等が慢性的に発生しており、バスの運行経費自体が増加してしまっている。運賃収入だけでなく、幅広い収入源の確保を検討して行く必要がある。</p>																						